

日本味と匂学会誌 Article of the Year 2002 賞 発表

2002年9月20日までに行われた編集委員会による選考の結果、2002年は、9巻2号(2002年8月号) 195-199頁、シリーズ 味と匂研究とComputer-13「PICを使った味と匂刺激装置の製作」鈴木 教世 著と決定致しましたので、ここに発表し、鈴木 教世氏(北海道大学大学院理学研究科)を表彰致します。

日本味と匂学会誌編集委員会 委員長 鈴木 教世

日本味と匂学会誌「Article of the Year」賞創設の趣旨(1999年10月14日)。

- 1) 創設の目的：日本味と匂学会誌への、会員の益々の投稿を誘うため(論文賞ではなく、年末のお楽しみ賞の性格とする)。
- 2) 表彰の主体：日本味と匂学会誌編集委員会(委員長名)
- 3) 選考：科学論文としての価値ばかりでなく、インパクト、おもしろさの視点から、日本味と匂学会誌編集委員会委員がe-mailで投票し、最多得点の記事を選ぶ。
- 4) 対象記事：前年の日本味と匂学会誌3号と当該年の1号、2号の原著、総説、技術ノート、感想記、海外だよりを含む、すべての記事を対象とする(但し、前年3号の学会大会発表論文と前年3号と1、2号の編集後記を除く)。
- 5) 賞金：編集経費から3万円現金を贈る。共著の場合は、筆頭著者あるいは、代表著者に贈る。
- 6) 発表と表彰：当該年日本味と匂学会誌3号(論文集号)での誌上発表および表彰とし、発表後に編集委員長が受賞者に賞金を送る。